

2020年8月9日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**

第63巻第18号(通算3195号)

教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:15-10:30 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください  
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう

# 週報

教会標語

神様が創られたすべての命を  
大切に<sup>たいせつ</sup>にする<sup>きょうかい</sup>教会



ホームページ「久宝教会」  
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>

【連絡先(牛田)】090-9161-4027

[kyuho-church@koinonia.or.jp](mailto:kyuho-church@koinonia.or.jp)

この希望が失望に終わることはありません。私たちに与えられた聖霊によって、  
神の愛が私たちの心に注がれているからです。(ローマの信徒への手紙5:5)

## 聖霊降臨節 第11主日礼拝

《<sup>しんがた</sup>新型コロナウイルスの<sup>かんせんかくだい</sup>感染拡大が<sup>つづ</sup>続いております。<sup>かんせんぼうし</sup>感染防止に<sup>りゅうい</sup>留意しながら<sup>れいはい</sup>礼拝を<sup>おこな</sup>行いますが、インターネット<sup>ちゅうけい</sup>中継を<sup>おこな</sup>しておりますので、ご<sup>じたく</sup>自宅でも<sup>しちょういただ</sup>ホームページから<sup>とも</sup>ご視聴<sup>れいはい</sup>頂き、<sup>いただ</sup>共に<sup>いただ</sup>礼拝をして<sup>いただ</sup>頂くことができます》

前 奏 黙 禱

招きの詞 <sup>しんと</sup>ローマの<sup>てがみ</sup>信徒への<sup>しょう</sup>手紙 <sup>せつ</sup>1章 16節

賛美歌 <sup>ばん</sup>211番「あさかぜしずかにふきて」(©<sup>きょうだんさんびかい</sup>教団讚美歌委員会)

聖 書 <sup>しんと</sup>コリントの<sup>てがみ</sup>信徒への<sup>しょう</sup>手紙 I <sup>せつ</sup>11章 23-26節

お 祈 り

賛美歌 <sup>ばん</sup>524番「われら<sup>な</sup>み名により」(1節のみ) (©<sup>ちやくけんしょうめつ</sup>著作権消滅)

メッセージ「わたしの<sup>きねん</sup>記念として」 <sup>みづたに</sup>水谷 <sup>けん</sup>憲 <sup>ぼくし</sup>牧師

賛美歌 <sup>ばん</sup>524番「われら<sup>な</sup>み名により」(3節のみ) (©<sup>ちやくけんしょうめつ</sup>著作権消滅)

主の祈り (2頁をご参照ください)

献 げ 物 (\* )

派 遣 <sup>ばん</sup>91番「神の<sup>かみ</sup>恵み<sup>めぐ</sup>ゆたかに<sup>う</sup>受け」(1節のみ) (©<sup>せつ</sup>JASRAC)

祝 福 <sup>みづたに</sup>水谷 <sup>けん</sup>憲 <sup>ぼくし</sup>牧師

後 奏 <sup>ばん</sup>アーメン コーラス (40-6番) (©<sup>きょうだんさんびかい</sup>教団讚美歌委員会)

報 告 (4頁をご参照ください)

《<sup>れいはい</sup>礼拝は<sup>じゆうせき</sup>自由席です。おとなりの方との<sup>かた</sup>間隔をあけて、<sup>かんかく</sup>席にお<sup>せき</sup>座りになっ  
たままで<sup>れいはい</sup>礼拝にご<sup>さんか</sup>参加ください》

\*「<sup>きさげもの</sup>献げ物(<sup>けんきん</sup>献金)」は<sup>さんかひ</sup>参加費では<sup>さんかひ</sup>ございません。

<sup>うけつけ</sup>受付に<sup>けんきんばこ</sup>献金箱が<sup>ようい</sup>ございます。ご<sup>かた</sup>用意のある方のみ、<sup>きさ</sup>お<sup>きさ</sup>献げください。

招きの詞 <sup>ことば</sup>ローマの信徒への手紙 1章 16節

<sup>ふくいん</sup>16 私は福音を恥としません。福音は、ユダヤ人をはじめ、ギリシア人にも、信じる者すべてに救いをもたらす神の力です。

聖書 コリントの信徒への手紙 I 11章 23-26節

<sup>23</sup>私があなたがたに伝えたことは、私自身、主から受けたものです。すなわち、主イエスは、引き渡される夜、パンを取り、<sup>24</sup>感謝の祈りを献<sup>ささ</sup>げてそれを裂き、言われました。「これは、あなたがたのための私の体である。私の記念としてこのように行いなさい。」<sup>25</sup>食事の後、<sup>さかずき</sup>杯も同じようにして言われました。「この杯は、私の血による新しい契約である。飲む度に、私の記念としてこれを行いなさい。」<sup>26</sup>だから、あなたがたは、このパンを食べ、この<sup>さかずき</sup>杯を飲む度に、主が来られるときまで、主の死を告げ知らせるのです。



主の祈り <sup>しゅいの</sup>(日本聖公会・カトリック教会共同訳)

<sup>てん</sup>天におられる <sup>わたし</sup>私 <sup>ちち</sup>たちの父よ、<sup>な</sup>み名が<sup>せい</sup>聖とされますように。

<sup>くに</sup>み国が<sup>き</sup>来ますように。

みこころが<sup>てん</sup>天に<sup>おこな</sup>行われる<sup>とお</sup>通り、<sup>ち</sup>地にも<sup>おこな</sup>行われますように。

<sup>わたし</sup>私 <sup>ひ</sup>たちの日ごとの<sup>かて</sup>糧を、<sup>きよう</sup>今日も<sup>あた</sup>お与えください。

<sup>わたし</sup>私 <sup>つみ</sup>たちの罪をおゆるしくください。私 <sup>わたし</sup>私たちも<sup>ひと</sup>人をゆるします。

<sup>わたし</sup>私 <sup>ゆうわく</sup>たちを誘惑におちいらせず、<sup>あく</sup>悪から<sup>すく</sup>お救いください。

<sup>くに</sup>国と<sup>ちから</sup>力と<sup>えいこう</sup>栄光は、<sup>えいえん</sup>永遠にあなたのものです。

アーメン。

《先週のメッセージより》8月2日 平和聖日（聖霊降臨節第10主日）礼拝  
メッセージ「あなたは平和に生きていますか」より 牛田 匡 牧師

聖書：ローマの信徒への手紙 14章13 - 23節

梅雨も明け、真夏の日差しが照り付けるようになりましたが、皆マスクをして外を歩いています。コロナ禍の中で「店頭には自治体公認のステッカーがありますか」「マスクをしていますか」「PCR検査の結果は陰性でしたか」など、人を区別する空気でいっぱいです。このように人を区別するのは、今から2000年前も同じでした。ユダヤ教の律法には、細かい食物規定があり、それを守ることができる義しい人と、守ることができない罪人とに区別されました。そのような時代に、イエス様は「何を食べるか否かで、人が汚れたりするわけじゃない」と言われたわけです。しかし、そのようなイエス様に従った人々の中にも、やはり食物に良し悪しを言う人々が何人もいました。

そのためにパウロは「食物のために、きょうだい<sup>けが</sup>が心を痛めているなら、あなたもはや愛に従って歩んではいません。食物のことで、きょうだいを滅ぼしてはなりません」と書き送っています。何故なら、「神の国」とは何を飲んだり食べたりして良いか悪いかではなく、聖霊と共にあって実現する正義と平和と喜びのある所にあるものだからです。大切なことは、「これは食べても大丈夫かな」と疑ってしまう自分を脇に置いておいて、「何を食べても大丈夫」という神様からの力を受けて歩むこと、そして周りの人たちともお互いに裁き合わないということなのでしょう。

コロナ禍が全世界規模で広がっている現在、自他の間に境界線を引き、「ここは安全」と言うことは、もはや意味をなしません。そのような時代の中で、在宅でも出来る支援活動としてクラウド・ファンディングが脚光を浴びています。暗闇の中に光が輝くように（ヨハネ1:5）、この時代も決して絶望だけに終わってはなりません。命を創られた神様は、その全ての命を取り去ることはない、大洪水の後に虹を立てて約束されました（創世記9）。私たちは今も、その神様の計画の中に生かされています。

「平和」はある特定の境界線の中、区切られた聖域、清さの中にあるわけではありません。神様（聖霊）と共に歩むその働きの中に、正義と喜びと共に実現されるものです。「あなたは平和に生きていますか」という問いに対しては、私たちはどのように答えられるのでしょうか。時代的、社会的に、今の社会は決して平和ではありませんが、そのような現実の中にあっても、私たちは平和を求めて、足元から平和をつくる人へと変えられて行きたいと、願っています。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 (8月2日)

礼拝出席 大人4名 献金 6,000円 感謝



◎次週 2020年8月16日(日) 聖霊降臨節第12主日礼拝

招きの詞 ルカによる福音書 12章 27-28節

聖書 ヨハネの手紙I 5章 1-5節

メッセージ「野の花のように生きる」牛田匡牧師

賛美歌 411番 (©著作権消滅) 396番 (©JASRAC) 471番 (©著作権消滅)

礼拝をインターネットで中継配信いたします。中継は10時半頃よりご視聴頂けます。

◎ お知らせ

- ・全国で、新型コロナウイルス感染者数が増えて来ています。教会では引き続き、手指消毒とマスク着用、お隣の方との間隔をあけた着席をお願いいたします。また教会堂に共に集まって礼拝する形にこだわらずに、インターネットの中継配信を利用した在宅での礼拝など、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝に参加くださいますように、ご検討ください。「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページに掲載いたしますので、そこからダウンロードして頂くことができますし、それらをご自宅までお届けすることもできます。また必要な方には、教会の『聖書』と『讃美歌』を貸し出しいたしますので、お申し出ください。今後も、感染状況の変化に伴う礼拝の持ち方など最新のお知らせについては、ホームページ、Facebook、LINE公式アカウントなどで、お知らせいたします。

- ・今夏の教会学校・まぶねっこクラブの活動は、「縁農」も「レーベンス・シューレ・森林ワークキャンプ」も、コロナ予防のために中止となりました。

- ・大阪教区核問題特別委員会より、福島第一原発からの「トリチウム汚染水の海洋放出に反対する署名」のお願いが届きました。8月末〆切です。署名用紙は、教会のホームページからダウンロードできる他、次のQRコードか、URLよりオンライン署名も可能です。ご賛同いただける方はご署名ください。



(<http://fukushima-kenmin311.jp/>) 署名して頂いた書面は、教会で取りまとめて郵送いたします(郵送の場合は、8/23までに当教会にお持ちください)。

- ・13日(木)9:30-11:30 釜ヶ崎・いこいの家にて、本田哲郎神父と「聖書を読む会」があります。テキストは、本田哲郎訳「ペトロの手紙1」および「聖書の話あれこれ」で、コピーが配布されます。参加費は無料で、希望者がカンパをしています。

- ・キリスト教幼児教育者向けの「第71回キリスト教視聴覚教育講習会 in オンライン」(キリスト教視聴覚センター(AVACO)主催)が開催され、ウェブサイトにて無料公開されています。次回は10日と17日です。

(<http://www.avaco.info/school/summer.html>)

- ・23日(日)14時から「Stop! 辺野古新基地建設! アクション」北上田毅さん講演会が福島区民センターにて行われます。

◎ 次週以降の行事予定・礼拝奉仕者

	会場	メッセージ	行事
8/16	久宝寺地区 久宝まぶねこども園 (新園舎・教会堂)	牛田牧師	
8/23		牛田牧師	おにぎり支援
8/30		牛田牧師	誕生者祝福式
9/6		牛田牧師	教会を考える会